

首都大学東京オープンユニバーシティ

高校生向け特別講座（無料）大学で何を学ぶか？

講座名 **大学で何を学ぶか？** 進学を目指す高校生の皆さんへ

出席者

首都大学東京 システムデザイン学部 菊竹 雪 教授、理学部 水口 佳一 准教授
首都大学東京 大学教育センター 兼 高大連携室長 河西 奈保子 教授

受講料：無料（1回）

定員：30名

対象者：高校生限定（受講当日、学生証を提示していただきます）

場所：飯田橋キャンパス

6月13日（土）14:00～17:00

講座コード 2011Z003

自分は大学で何を学びたいのか。どのような視点で進路を選べばよいのか。大学での学びにふれながら、自分の興味を深めることで、学問を人生にどう生かすか、その先の将来にどう繋げていくかヒントをお伝えします。

高校生の皆さんが
考えた事を
積極的に
発言してみよう！

～この講座でお伝えしたいこと～

- 様々な情報に溢れている世の中で大事なことは、何が本質であるかを自分で考える力と行動する力である
- 大学は、高校までのように教室に座っていれば教えてもらえる場所ではなく、自ら自分の考える力を伸ばす場所である
- 一つのきっかけとして、人間とは何か、人生とは何であるかという問いについて一緒に考えたい
- 今、日本の未来の創造には柔軟な発想力が必要とされている。そのためには基礎力の養成と共に、文理系を問わない、広範な知識や教養を身につけることが大切である
- 日本はかつて経験したことのない様々な困難に直面している。この困難な状況を打開しすべての人間が尊厳をもって生きる社会を創りあげるのは、正義感と倫理観に裏付けられた、力強くてしなやかな若い知性をおいてほかならない



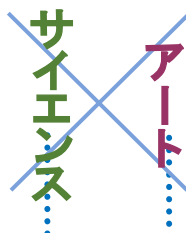
みずぐち よしかず
水口 佳一
首都大学東京准教授
理学部

世にない新しい超伝導物質のデザイン

超伝導を利用したシステムは世の中に大いに貢献しますが、超伝導システムの可能性をさらに広げるためには、新しい超伝導物質の発明（新物質デザイン）が重要です。

そのような研究を達成するには、専門的研究やスキルも必要ですが、実は発想力がないと、なかなか難しいのです。他人とは一味違った発想力を身につけるためには、広範な知識の習得、基礎力・好奇心などを養う必要があります。高校での授業も非常に大切です。

超伝導物質をデザインする研究を簡単に紹介、発想力の重要性を共有し、今後の皆さんの可能性についても一緒に考えていきましょう。



きくたけ ゆき
菊竹 雪
首都大学東京教授
システムデザイン学部

ヒトとマチをつなぐデザイン

インダストリアルアート学科では、様々な領域のデザイン教育・研究が行われています。デザインとは、意匠や表現だと思いませんか。好奇心をもって日常を見直してみる、そこに新しい気づきが生まれるはず。その気づきを源流に、アイデアを積み重ねていくプロセスの中で、少しずつ進化しながらデザインとして結実していくことを学びます。

私は、ヒトとマチをつなぐデザイン「スーパーグラフィック」を専門としています。聞きなれないかもしれませんが、バスのラッピングや工事現場の囲いを使ったグラフィックなど、皆さん目に見えていることでしょうか。都市のスケールで展開する事例を紹介、デザイン思考について一緒に考えてみませんか。

※先生方と直接お話ができます。

お申し込み方法

会員でなくても申し込めます（無料）

申込受付開始：3月4日（水）9時～

- 電話 03-3288-1050（飯田橋キャンパス）
- FAX 03-3264-1863（飯田橋キャンパス）
- インターネット www.ou.tmu.ac.jp/web/
- 首都大学東京オープンユニバーシティ窓口
（飯田橋キャンパス：平日9時～17時30分）

上記のいずれかの方法でお申し込みください。

- ・申込みの受付は先着順となります。予めご了承ください。
- ・申込みは受講者個人ごとに受け付けます。人数だけの複数申込みはできません。
- ・申込み時に、受講を希望する講座の講座コード（複数申込み可）を、明示してください。
- ・開講2週間前に「受講のご案内」を送付します。当日は、「受講のご案内」をご持参ください。
- ・ご住所を勤務先にされる方は、「会社名・部署名」を明示してください。（「受講のご案内」が届かない場合がございます）